

世界に誇る安全な輸送サービスの提供を実現するために、行政・事業者・利用者の‘安全トライアングル’により、総力を挙げて事故の削減に取り組むべく、第11次交通安全基本計画と期間を合わせた事業用自動車の安全プランを策定。

ポイント

- 依然として発生する飲酒運転、健康起因事故等への対策、先進技術の開発・普及を踏まえた対策、超高齢社会におけるユニバーサルサービス連携強化を踏まえた事故防止対策
- 新型コロナウイルス感染症拡大、激甚化・頻発化する災害等に対し、新たな日常への移行に伴う事業環境変化における安全対策
- 重傷者数に対する削減目標とともに、業態毎に一層の事故削減を図るため、各業態の特徴的な事故に対する削減目標を設定

【重点施策】

1. 「新たな日常」における安全・安心な輸送サービスの実現

- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う運送労働環境の変化と附随作業の増加への対応
- ・激甚化・頻発化する災害への対応 等

2. 抜本的対策による飲酒運転、迷惑運転等悪質な法令違反の根絶

- ・飲酒運転事故件数の近年の下げ止まりへの対応
- ・社会的関心の高まる「あおり運転」への対応 等

3. ICT、自動運転等新技術の開発・普及推進

- ・ICTを活用した高度な運行管理の実現
- ・無人自動運転サービスに向けた安全確保 等

4. 超高齢社会におけるユニバーサルサービス連携強化を踏まえた事故の防止対策

- ・依然として多発する乗合バスの車内事故への対応
- ・高齢運転者事故への対応 等

5. 原因分析に基づく事故防止対策の立案と関係者の連携による安全体質の強化

- ・各業態の特徴的な事故への対応
- ・健康に起因する事故の増加への対応 等

6. 道路交通環境の改善

- ・高速道路から生活道路に至る道路ネットワークを体系的に整備し、道路の適切な機能分化を推進する 等

【事故削減目標】

<全体目標>

- ① 24時間死者数225人以下、バス、タクシーの乗客死者数ゼロ
- ② 重傷者数2,120人以下
- ③ 人身事故件数16,500件以下
- ④ 飲酒運転ゼロ

<各業態の個別目標>

- 【乗合バス】車内事故件数85件以下
- 【貸切バス】乗客負傷事故件数20件以下
- 【タクシー】出会い頭衝突事故件数950件以下
- 【トラック】追突事故件数3,350件以下

第11次交通安全基本計画と期間を合わせた事業用自動車の安全プランの策定を受け、九州においても改めて、PDCAサイクルに沿って計画的な事故等削減を目指す。

【重点施策】

1. 「新たな日常」における安全・安心な輸送サービスの実現

・激甚化・頻発化する災害への対応 等

2. 抜本的対策による飲酒運転、迷惑運転等悪質な法令違反の根絶

・飲酒運転撲滅のための周知・徹底や取組の実施
・セミナー等を通じて迷惑運転等悪質な法令違反根絶に向けた啓発の実施 等

3. ICT、自動運転等新技術の開発・普及推進

・ASV等の先進安全技術導入に対する導入補助・普及促進
・ICTを活用した高度な運行管理実現のための導入補助・普及促進 等

4. 超高齢社会におけるユニバーサルサービス連携強化を踏まえた事故の防止対策

・依然として多発する乗合バスの車内事故防止の啓発・徹底
・高齢運転者の事故防止のための対策促進 等

5. 原因分析に基づく事故防止対策の立案と関係者の連携による安全体質の強化

・各運動期間中における事故防止啓発活動の実施
・セミナー等を通じた事故防止に対する活動の実施 等

6. 道路交通環境の改善

・道路交通環境の整備に関し、関係者への働きかけを行う 等

7. 車両故障に起因する重大事故の撲滅

・点検整備の重要性に係る内容の周知活動の推進 等

事業用自動車安全対策計画2025(プラン2025)による事故削減目標(期間:R3～R7)

全体目標

①死者数 22人以下

バス:ゼロ、タクシー:3人以下、トラック:19人以下

バス・タクシー:乗客死者数ゼロ

②重傷者数 217人以下

バス:23人以下、タクシー:85人以下、トラック:109人以下

③人身事故件数 2,020件以下

バス:130件以下、タクシー:950件以下、トラック:940件以下

④飲酒運転 ゼロ

バス・タクシー・トラック共通

各業態の個別目標

【乗合バス】車内事故件数 20件以下

【貸切バス】乗客負傷事故件数 3件以下

【タクシー】出会い頭衝突事故件数 140件以下

【トラック】追突事故件数 360件以下

新プラン2025での事故削減目標値は、直近5年間の死者数・事故件数等をもとに全国と九州の割合により算出した数値を参考に各モードで決定した。